

経済教育学会第34回全国大会のご案内

全体テーマ： 新世代に求められる経済教育とは、どのようなものであるべきか
—日本の新学習指導要領と韓国の新教育課程における経済教育の新たな展開を踏まえて—

日時：2018年9月29日(土)～9月30日(日)

会場：大阪教育大学天王寺キャンパス

主催：経済教育学会

後援：駐大阪大韓民国総領事館

開催にあたって

大会実行委員長 裴光雄（大阪教育大学）

経済教育学会第34回大会を2018年9月29日(土)～9月30日(日)の両日に、大阪教育大学天王寺キャンパスで開催させて頂くことになりました。大阪での開催は2009年9月の第25回全国大会(関西大学)以来9年ぶりです。本大会は、日韓の経済教育の協定締結を記念する大会として、全体テーマを「新世代に求められる経済教育とは、どのようなものであるべきか、—日本の新学習指導要領と韓国の新教育課程における経済教育の新たな展開を踏まえて—」としております。9月29日は全体テーマに関する記念講演と基調講演およびシンポジウムを開催します。最初に山岡道男先生(早稲田大学)から交流協定締結記念講演「日韓経済教育学会交流前史」を話して頂きます。次いで、韓国の慶尚大学金景模(キム・キョンモ)先生と岩田年浩元会長による基調講演を受けて、金子浩一先生(宮城大学)と韓国の京仁教育大学朴英錫(パク・ヨンソク)先生に加わってもらって、4人のパネリストを中心に討論します(日韓の逐次通訳あり)。9月30日は分科会を開催します。

大会スケジュール

第1日(9月29日・土曜日)

11:00-12:30 理事会 中央館4階415室

13:00-16:50 基調講演・シンポジウム(受付は12:00～) 西館1階ホール

13:00-13:05 総合司会(大会実行委員長 裴)の開会宣言

13:05-13:10 新里会長の挨拶

13:10-13:20 韓国経済教育学会 崔鍾珉会長のご挨拶

13:20-13:30 駐大阪大韓民国総領事館からの挨拶

13:30-13:50 山岡道男 交流協定締結記念講演「日韓経済教育学会交流前史」

＜日韓経済教育学会交流協定締結記念シンポジウム＞

テーマ： 新世代に求められる経済教育とは、どのようなものであるべきか

—日本の新学習指導要領と韓国の新教育課程における経済教育の新たな展開を踏まえて—

シンポジウム司会 高山 新（大阪教育大学）

13:50-14:50 基調講演① 金景模

「韓国社会科教育課程における経済領域の変遷と特徴

および4次産業革命時代の経済教育の現代的課題」

14:50-15:10 基調講演② 岩田年浩

「探求力が広がる経済教育の発問」

15:10-15:20 休憩

15:20-16:50 パネルディスカッション

金子浩一 15分、朴英錫 30分(通訳のため2倍)

フロアとの質疑応答 30分

最後のまとめパネリスト全体で 15分

17:00-17:45 学会総会(西館1階ホール)

18:00-19:30 懇親会(学園ホール1階食堂)

第2日(9月30日・日曜日) 中央館

9:30-12:00 分科会報告(午前の部)

1. 初等中等教育での経済教育(1)(2階212教室)
2. 労働問題・キャリア教育(1) (2階213教室)
3. 金融・財政・租税教育(1) (2階214教室)
4. 新たな経済教育をめざして (2階215教室)
5. 経済基礎理論・経済概念・経済リテラシー
(3階315教室)
6. 大学における経済教育 (3階316教室)

発表 25分・質疑応答 10分

司会 9:30-9:35

(1) 9:35-10:10

(2) 10:10-10:45

(3) 10:45-11:20

(4) 11:20-11:55

予備 11:55-12:00

12:00-13:00 理事会(1階会議室) 昼食(学園ホール1階食堂)

13:00-15:00 分科会報告(午後の部)

7. 初等中等教育での経済教育(2)(2階212教室)
8. 労働問題・キャリア教育(2) (2階213教室)
9. 金融・財政・租税教育(2) (2階214教室)
10. 主体的な学び・主権者教育 (2階215教室)
11. 経済概念・授業方法 (3階315教室)

発表 25分・質疑応答 10分

司会 13:00-13:05

(1) 13:05-13:40

(2) 13:40-14:15

(3) 14:15-14:50

予備 14:50-15:00

分科会プログラム

分科会名	発表者	所属	テーマ
第1分科会 初等中等教育での 経済教育(1) (212 教室) 座長 岩田年浩	(1)武部浩和	大阪市立西生 野小学校	小学校経済体験学習の 実践と改善課題
	(2)安野雄一	大阪教育大学 附属平野小学 校	過去—現在に学び、 未来を「そうぞう」 する 経済教育の構想
	(3)金龍民(キム ヨンミン)	韓国釜山教育 大学院	韓国小学校におけ る経済教育の内容変 遷
	(4)金子浩一	宮城大学事業 構想学群	経済概念に関する 模擬取引の小学 校での 実践例 —海外補 習授業校での遠 隔講義 の試行を踏まえ て—
第2分科会 労働問題・キャ リア教育(1) (213 教室) 座長 田中 淳	(1)越田年彦	東京都立松が 谷高等学校	キャリア教育・経 済教育・在り方 生き方教育にお ける統合的授業 実践の試み
	(2)中里弘穂	福井県立大学	女性従業員の就 業意識と活用の 課題 —福井県の女性 就業を例とし て—
	(3)稲垣久美子	明治大学	「ダイバーシテ ィ&インクルージ ョン」の理解を 促すキャリア教 育プログラムの 実践
	(4)唐澤克樹	倉敷市立短期 大学	短大生が抱く中 小企業のイメ ージ
第3分科会 金融・財政・租 税教育(1) (214 教室) 座長 高山 新	(1)高橋勝也	名古屋経済大 学	学校教育におけ るESG投資の有 用性 ～ SDGsの実現に 向けて～
	(2)田村徳至	信州大学	経済分野を中心 とする消費者教 育に関する一 考察
	(3)小山内幸治 北野友士 西尾圭一郎 松浦義昭 氏兼 惟和	滋賀短期大学 桃山学院大学 愛知教育大学 金沢大学 愛知県金融広 報委員会	金融リテラシー に対する影響要 因の分析 について
	(4)長谷川岳雄	三重大学	キャリア・シフト —50年働く時 代にキャリアを 二度楽しむ方 法—

分科会名	発表者	所属	テーマ
第4分科会 新たな経済教育 をめざして (215 教室) 座長 大坂 洋	(1)小川健	専修大学・経 済学部	マクドゥーガル＝ケンプ・モデルの持つ現 代的意味と再解釈
	(2)炭谷英一	神戸市消費生 活マスター	消費者庁 「行動経済学」の意義と意味
	(3)水野勝之 久井田直之 井草剛 竹田英司 一木蓮 原田凌弥 丸井颯 山本隼也	明治大学 日本大学 松山大学 松山短期大学 明治大学 明治大学 明治大学 明治大学	CORE 教科書ユニット1のガイドブックモデ ル作成の試み
	(4)吉田昌幸 小林重人	上越教育大学 北陸先端科学 技術大学院大 学	構築主義に基づく経済学的思考の育成 ーレゴブロックを用いたゲームの開発と実 践からー
第5分科会 経済基礎理論・ 経済概念・経済 リテラシー (315 教室) 座長 塩田尚樹	(1)箕輪京四郎	元横浜商業高 等学校	価格について高校生に教える
	(2)宮下 春樹 高柳 元	筑波大学人文 社会科学研究 科 筑波大学 教 育研究科	経済理論を導入した日本史授業の提案
	(3)何峰	早稲田大学ア ジア太平洋研 究科博士三年	経済リテラシーと対外認識:中国の高校生 を事例にして
	(4)Yun-Woo, LEE(イ・ユン ウ)	韓国開発研究 院,	日本と韓国(韓国と日本)経済教育学会の 学術誌のキーワード分析を通じた経済教 育研究動向に関する研究

分科会名	発表者	所属	テーマ
第6分科会 大学における経 済教育 (316 教室) 座長 橋本 勝	(1)内田秀昭	三重大学教 育学部	「食の安全」に関する指導案と意識の乖離
	(2)金子能呼	松本大学松 商短期大学 部	ゼミナールによるマーケティングの教育効果 とコンピテンスの育成
	(3)北島啓嗣	福井県立大 学経済学部	教育活動としてのストア・コンパリズン
	(4)井草剛 竹田英司	松山大学 松山短期大 学	松山大学「国際経済特殊講義 A 東アジア 経済論」の授業実施報告——平成 30 年 度, 上海研修の実施報告より——
第7分科会 初等中等教育で の経済教育(2) (212 教室) 座長 井草 剛	(1)行壽浩司	福井県越前 市武生第六 中学校	「公共財」を題材にした教材開発～『雪かき ゲーム』から考える～
	(2)河原和之	立命館大学	見方・考え方を鍛える中学校経済の授業
	(3)奥田修一郎	大阪教育大 学(非常勤講 師)	現代社会の見方・考え方をきたえる中学校 経済教育のカリキュラム案と授業提案～小 中の接続と他教科との連携をはかりながら ～
第 8 分科会 労働問題・キャリ ア教育(2) (213 教室) 座長 中里弘穂	(1)中村賢治	基礎経済科 学研究所	仕事の方法と学問・研究の方法
	(2)金森敏	東京家政学 院大学	キャリア教育としての実践コミュニティ:学生 の継続・非継続活動に着目して
	(3)田中淳	東京都立産 業技術高等 専門学校	新卒採用における合格・不合格の原因
第9分科会 金融・財政・租税 教育(2) (214 教室) 座長 田村徳至	(1) 西尾圭一 郎	愛知教育大 学	事前調査を踏まえた大学における金融教 育の実践とその効果測定
	(2)金子幹夫	神奈川県立 三浦初声高 等学校	「税・財政」の授業案構築のための授業準 備用指導資料の研究
	(3) 佐々木謙一	北海道教育 大学	学生による租税教育の模擬授業の実践に ついて

分科会名	発表者	所属	テーマ
第10分科会 主体的な学び・ 主権者教育 (315 教室) 座長 八木紀一 郎	(1)竹田英司 安田俊一	松山短期大学 商科 松山大学経済 学部	課題解決型学習の実践と成果:地域社会 と連携した課題解決の取り組み
	(2)田中博章	愛知教育大 学附属高等 学校	主体的な学びを育成する経済学習-電子ポ ートフォリオを活用して-
	(3)猪瀬武則	日本体育大 学	18 才選挙権時代の経済教育内容開発ーリ バタリアン・パートナーリズムの扱い
第11分科会 経済概念・授業 方法 (316 教室) 座長 高橋勝也	(1)新井 明	上智大学非 常勤講師	機会費用の教え方に関するー考察ーテー マと方法からー
	(2)大坂 洋	富山大学経 済学部	GDP がわからない経済学部生ーマクロ経済 学 1 ページ目以前の必須知識について
	(3)松野 至	名古屋経済 大学市邨高 等学校	ICTとAIを活用した OECD の PISA の読解 力の向上に向けた取り組み

アクセス

JR 天王寺駅、地下鉄天王寺駅、近鉄大阪阿部野橋駅下車、徒歩約 10 分。

JR 寺田町駅下車、徒歩 5 分 https://osaka-kyoiku.ac.jp/campus_map.html#tennoji

参加申し込み

参加をご希望の方は 2018 年 9 月 14 日(金)までにお申し込みください。参加費は 2 日間とも無料です。申込方法:経済教育学会のホームページ <http://www.ecoedu.jp> から下記の必要事項を入力して下さい。受付は 8 月下旬から行います。必要事項:参加者氏名・所属・連絡先(郵便番号、住所、氏名、電話番号、ファックス番号、電子メールアドレス)、会員・非会員の別、懇親会(会費 3,500 円)の出・欠。

なお、大会期間中のお弁当の手配は行いません。学園ホール 1 階食堂を利用して下さい。

お問い合わせ

〒543-0054 大阪市天王寺区南河堀町 4-88 裴光雄研究室内
経済教育学会第 34 回全国大会実行委員会

Tel:(06)6775-6629, Fax:(06)6775-6629, Email(大会用) : bae@cc.osaka-kyoiku.ac.jp